

## ◇開催案内◇

No. 19-335 部門 30 周年記念行事 連続企画 第 2 弾  
講習会 [見学会付] 「脱炭素社会における火力発電の未来」  
日本機械学会 動力エネルギーシステム部門企画

[協賛 (予定) : (五十音順) エネルギー・資源学会、化学工学会、火力原子力発電技術協会、計測自動制御学会、情報処理学会、水素エネルギー協会、ターボ機械協会、電気学会、日本エネルギー学会、日本ガスタービン学会、日本原子力学会、日本材料学会、日本鉄鋼協会、日本伝熱学会、日本燃焼学会、日本ボイラ協会]

開催日: 2019 年 10 月 16 日 (水) 9:00~17:00

会場: (株) I H I 横浜ゲストハウス 大会議室  
神奈川県横浜市磯子区新中原町 1  
<https://www.ihl.co.jp/ihl/company/offices/yec2/>

### 趣 旨:

動力エネルギーシステム部門は、2020 年に 30 年の節目を迎えます。記念行事の一環として「次世代エネルギー」に関する講習会を 2018~2020 年度の 3 回シリーズとして企画しています。

第 2 回目となる 2019 年度は、「脱炭素社会における火力発電の未来」をテーマとして開催します。

パリ協定の発効とともに地球温暖化防止対策が強化される中、第 5 次エネルギー基本計画に明記された再生可能エネルギーの主力化への動きは、ESG 投資の増加とともに今後も加速していくと見られます。一方、2030 年のエネルギーミックスにおいても重要な電源である石炭火力発電に対し、ダイベストメントや座礁資産化の指摘などに代表される 3E のバランスを崩す動きへの懸念もある中、バイオマスや CCS/CCUS による燃料の低炭素化や煙道からの CO<sub>2</sub> 排出の直接的削減は必然の流れと言えます。また、電力系統はこれまで、蓄積したデータに基づく需要予測に応じて供給力が計画的・経済的に確保され、安定的に運用されてきました。しかし、未だ供給力予測において確度の低い変動性の再生可能エネルギーの急速な大量導入とともに、残余負荷を担う需給調整力と適正な供給予備力を経済的に確保する厳しい要件が火力発電に向けられています。このような局面においては、これまでの高温高圧化による定格運転での最高効率の向上のみならず、部分負荷運転でも効率を維持しながら、急速かつ確実な起動停止や大容量のランプアップダウンに対応する柔軟性を併せ持つ機動性の高い電源への進化も期待されています。

以上を踏まえ、今回の講習会では、「脱炭素社会における火力発電の未来」をテーマに講師をそろえ、火力発電のこれからの講習会参加者の皆様と活発に議論したいと考えております。奮ってご参加ください。

### プログラム:

9:00 集合 JR 横浜駅東口集合・出発

(時間厳守) 集合場所: 横浜駅東口 中央通路 少女ブロンズ像前

※集合場所までは、各自公共交通機関をご利用の上お越しください。『日本機械学会 動力エネルギーシステム部門』の掲示を目印にご乗車願います。

※講習会のみ参加の方は 11:30 までに IHI 横浜ゲストハウスにお越しください。

9:30 - 10:50 見学会 J-POWER 電源開発(株) 磯子火力発電所 ※先着 30 名様のみのご案内となります。

- 10:50 - 11:00 質疑応答
- 11:10 - 11:30 I H I 横浜事業所着
- 11:30 - 12:00 I H I 横浜事業所見学（講習会のみご参加の方は横浜事業所見学よりご参加ください。）
- 12:00 - 12:50 昼食 ゲストハウス内講習会会場
- 12:50 - 13:00 開会挨拶
- 13:00 - 13:50 講演 1 「エネルギー基本計画と今後の動向」  
経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房総務課戦略企画室 総括係長 蟹江優
- 13:50 - 14:00 休憩
- 14:00 - 14:40 講演 2 「脱炭素社会実現に向け、次世代火力発電に求められる役割」  
東電設計株式会社 シニアオフィサー（火原協 前専務理事） 船橋 信之
- 14:40 - 15:20 講演 3 「変動性再生可能エネルギーの大量導入に対する発電設備運用の柔軟性向上」  
東芝エネルギーシステムズ（株） デジタルイノベーション技師長 中井昭祐
- 15:20 - 15:30 休憩
- 15:30 - 16:10 講演 4 「低炭素燃料利用技術（バイオマス燃焼，アンモニア燃焼）」  
㈱IHI 資源・エネルギー・環境事業領域 ボイラ SBU 技術センター 燃焼技術部  
主幹 大野 恵美
- 16:10 - 16:50 講演 5 「燃料の低炭素化と CO2 排出削減のための CCUS 技術の展望」  
早稲田大学 創造理工学部 教授 中垣隆雄
- 16:50 - 17:00 閉会挨拶・現地解散（最寄り駅 JR 新杉田駅）

定員： 50 名（申込み先着順）

申込締切： 9 月 27 日（金）（定員となり次第締め切ります）

聴講料（見学会付き）：会員・協賛学協会会員 9,000 円（学生会員 5,000 円）

会員外 15,000 円（一般学生 10,000 円）

聴講料（講習会のみ）：会員・協賛学協会会員 6,000 円（学生会員 2,000 円）

会員外 12,000 円（一般学生 7,000 円）

※学生員から正員資格へ移行された方は、卒業後 3 年間、本会講習会へは学生員価格で参加可能です。申込先フォームの会員資格は「正員（学生員から正員への継続特典対象者）」を選択し、通信欄に卒業年と卒業された学校名をご入力ください。

教材： 当日用資料として講習会参加者にのみ配布します。

申込方法： お申込み 1 名につき、

[https://www2.jsme.or.jp/fw/index.php?action=kousyu\\_index&gyojino=19-335](https://www2.jsme.or.jp/fw/index.php?action=kousyu_index&gyojino=19-335) からお申し込み下さい。

**講習会のみ参加を希望される場合は、通信欄に「講習会のみ参加」と記載下さい。**

特別員（法人会員）資格にてご参加の場合は、通信欄に行事参加料割引コードをご入力ください。

なお、当講習会では銀行振込の払込票等をもって領収書に代えさせて頂き、聴講券（兼領収書）は発行致しませんので、当日はお申込み時の自動返信メールを印刷の上、会場受付までお持ち下さい。

本会所定の領収書が入用の場合には <https://www.jsme.or.jp/receipt/> をご参照の上、別途お申し込み下さい。

ご入金後はキャンセルのお申し出があってもご返金できませんので、ご了承ください。頂いた個人情報は、安全管理のため、見学先に提供しますのでご了承ください。

問合せ先： 日本機械学会〔担当職員 森本 あかね〕

電話 03-5360-3505/E-mail [morimoto@jsme.or.jp](mailto:morimoto@jsme.or.jp)